



## 2019年度博・学連携先進施設視察研修

博・学連携推進研究委員会の事業として、2019年度博・学連携先進施設視察研修を実施しました。

- 1 実施日：10月30日（水）
- 2 参加者：市内小中学校の先生方 8名（博・学連携研究委員6名を含む。）  
花巻市博物館の職員 7名  
合計15名
- 3 視察施設：岩手県立博物館（午前） 岩手県立美術館（午後）
- 4 岩手県立博物館での研修

### 【講義内容 「博・学連携について」】

- (1) 岩手県立博物館では、岩手県立盛岡峰南高等支援学校と岩手県立平館高等学校の2校と博・学連携事業を行っている。
- (2) 岩手県立盛岡峰南高等支援学校との連携  
ア 博物館の体験学習室で使用した衣装のクリーニングの依頼
- (3) 岩手県立平館高等学校との連携  
ア 平成27年度から平館高等学校の被服科と連携を行い、体験学習室のハンズオン資料（実際に着たり、手で触ったりできる資料）の製作を依頼している。  
イ 平成27年度に「明治時代のドレス」の製作を依頼したことが始まりで、平成28年度には「近代女学生装束」を、平成29年度と平成30年度は「雫石あねっこ装束」を2年がかりで製作してもらった。製作した装束は、学校での出前授業や博物館の体験学習室での着用体験で使用している。  
ウ 今年度の取組の状況
  - ・今年度は「歴史装束（水干）」の製作を行っている。
  - ・平館高校被服科の生徒が4月に来館、今までの取り組みについて学んだ。
  - ・5月には平館高校に行って出前授業を行い、製作資料の歴史背景や製作の仕方について学んでもらったりしている。
  - ・6月から製作開始
  - ・12月に再度博物館に来てもらい、ディスプレイについて検討する。
  - ・平館高等学校は、1月にこの連携事業で学んだことを課題研究授業の成果として発表する。
  - ・2月上旬に完成披露を行い、引渡式を行う。

この連携事業を進めることで、岩手県立博物館は体験学習室の充実が図られ、平館高等学校被服科は課題研究授業の成果として発表できるということでした。

県立博物館では、出前授業は学芸員それぞれがプログラムを持っていて、要請があれば学校に出かけて授業をしているということでした。花巻市博物館では、出前授業や博物館見学学習の受け入れ充実が博・学連携の大きな柱となっていますが、県立博物館では、博物館と他の団体が一緒に何か事業を行うことを連携ととらえているのだと分かりました。



県立博物館前で撮影

また、県立博物館では団体利用の際の仕組みができていて、展示の解説は専門の部署の解説員が行っていました。

## 5 岩手県立美術館での研修

### 【講義内容】

(1) 岩手県立美術館では、教育連携事業として大きく分けて次の3つの内容を行っている。

ア 教育普及・団体対応プログラム

イ 教員向け講座

ウ アートカード出前授業

(2) 教育普及・団体対応プログラムの内容

ア 美術館紹介

イ 常設展示の鑑賞サポート

ウ 館内（公共エリア）見学

エ 館内（バックヤード）見学

オ 特別支援学校・特別支援学級を対象とした造形体験

(3) 教員向け講座の内容

県立美術館の団体対応プログラムの紹介や外部講師による造形体験をしながら、美術教育について学んだり、教員同士の情報交換の機会としたりしている。

(4) アートカード出前授業

ア アートカードとは、美術館所蔵の美術作品をカードにしたもの。

イ 全国の美術館・博物館で制作し、学校への貸し出しや販売を行っている。見る力、話したり聞いたりする力、コミュニケーション能力の育成に効果が期待できる。

ウ アートカード出前授業を行い、その後来館して本物の作品を鑑賞することで、次のことが期待できる。

- ・親しみ度がアップする。
- ・感じたことを言葉にして交流することを経験できる。
- ・実物との比較で、実物をもっとよく見るようになる。



県立美術館前で撮影